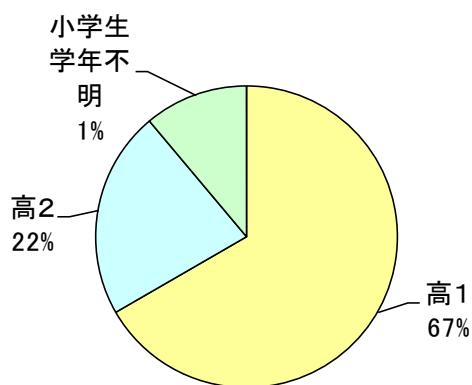


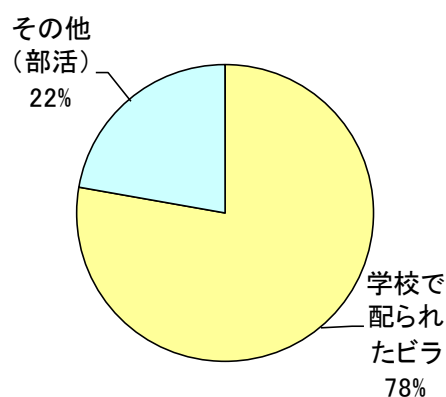
科学教室「自律移動ロボットの制御プログラミング体験教室」アンケート集計結果

主催：電子情報通信学会、同東海支部、名城大学
後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、名古屋市教育委員会
協催：名古屋テレビ塔株式会社
会場：名古屋テレビ塔
開催日：平成24年8月21日（火）12時30分～18時
講師：小中英嗣先生、旭健作先生（名城大学）
協賛：NEC、富士通

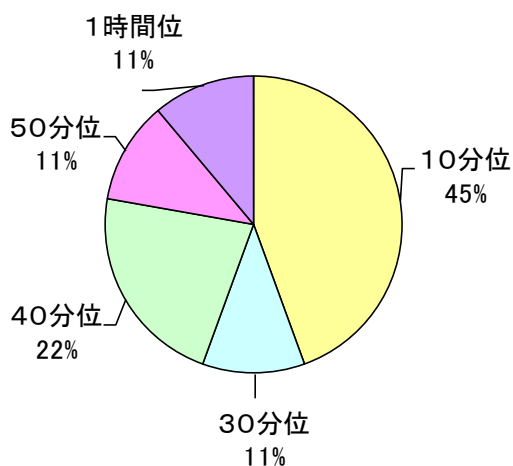
1. 参加人数 9名
2. アンケート回答率 9名（100%）
3. 参加者の学年構成



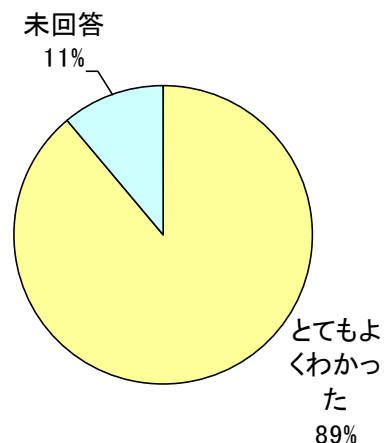
4. 開催情報の入手方法



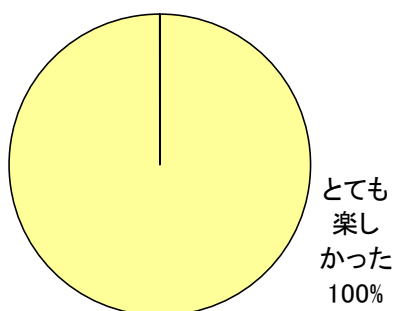
5. 会場までの所要時間



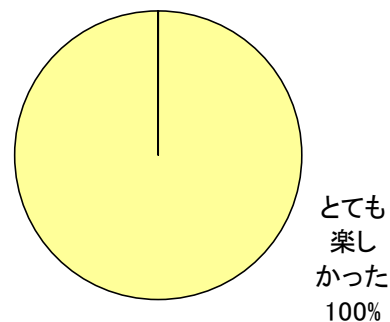
6. 理解度について（講演）



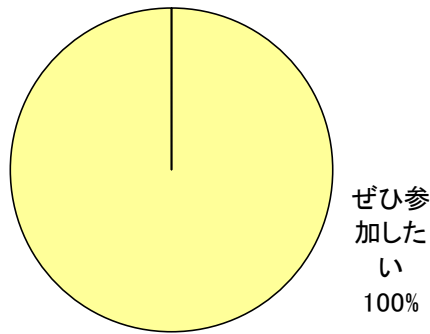
7. 理解度について（実習）



8. 体験教室について



9. 次回の参加について



10. 参加した感想

【高校生】

- ・ 面白かった。(高1)
- ・ レゴは普通のやつはどんな人でもできて面白いけど、ロボット専用のレゴの方が面白いなど思った。(高1)
- ・ WRO の時は先輩のプログラムをやっていたので、今回は自分のプログラムでやれたので難しさを感じました。プログラムを作る時は学生さんに頼りっぱなしでしたが、こうしたらというイメージはありました。プログラムを作っても入れてみるとうまくいかなないので、そこがやっぱりロボットの楽しさであり、難しさであると思う。(高1)
- ・ プログラムの作り方がよくわからなかったのですが、大学生の方が全て教えてくれるわけだけでなく、ヒントを多くくれて自分で考えさせてくれて良かったです。(高1)
- ・ プログラミングが思うようにできなくて苦労したが、最後には他の人達と進み方が違う自分らしいロボットができたので良かった。レースでは、電池なのか紙の違いなのかわからないが、うまくいかなかったのが悔しかった。ロボットには関心があるので、今後もロボットの情報の勉強をしっかりしていきたいと思う。(高1)
- ・ 最初は形にならなくて困った所もあったが、最後はシンプルだが形になったのでとても良かった。プログラムのアルゴリズムを作るのは比較的得意だと思っていたので、うまいプログラムを作る事ができて良かった。やはりプログラムはどの状況でも対応できるものは難しく、なかなかうまくいかなかった。最後は考えていたのと違う動きをしていたので悔しかった。プログラムは作る人の個性が出るのだなと実感した。失敗を分析して内容を変える事はとても楽しかった。これからもプログラミングなどに興味を持って取り組む事ができるといいと思う。(高1)
- ・ ロボットがちゃんと動いた時はとても感動した。(高2)
- ・ ロボットがちゃんと走った時すごくうれしかった。またこのような体験ができればやりたいと思った。(高2)

以上